

## 採 集 ノ ー ト (6)

渡 辺 定 路

### 【コケシノブ科】

1. *Mecodium oligosorum* (Mak.) H. Ito キヨスミコケシノブ  
コウヤコケシノブに似ているが、裂片の縁が全縁であることで区別できる。  
本州(茨木県以西の太平洋側)、四国、九州、朝鮮に分布。  
遠敷郡名田庄村 頭巾山1980. 7. 13(18506)で採集。  
頭巾山は日本海側唯一の産地。

### 【オシダ科】

2. *Athyrium* × *inabaense* Serizawa ニセハツキシダ  
サキモリイヌワラビとホソパイヌワラビとの雑種と推定されるもの。  
葉形・葉質はサキモリイヌワラビに似るが、小羽片の脈上に棘状の突起があるのでよく区別できる。  
遠敷郡名田庄村一ツ谷1980. 10. 9(19733)で採集。
3. *Athyrium neglectum* Serizawa コシノサトメシダ  
この羊歯は、昭和36年に赤兎山にて採集した標本を、故倉田先生に同定をお願いしたところタカネサトメシダの1型と……その後、先生は裏日本の資料が集まり、この型のものをコシノサトメシダ同定されるようになり、日本シダの会会報2巻27, 28号(1976)にタカネサトメシダの変種として書かれた。  
本種は日本海側のブナ帯上部から亜高山帯にかけての湿ったところに生育し、中部羽片の最下小羽片はほぼ対生する。また、包膜の辺縁は歯牙状の欠刻があるのみで著しく毛裂することはないこと、葉身は大きくても40種程度とあまり大きくならないことで、サトメシダ、タカネサトメシダから区別できる。  
北海道、本州(青森県から福井県にかけての日本海側)に分布。  
勝山市小原峠(13268, 13327, 16819) 勝山市取立山(7143) 大野市赤兎山(4801, 5160, 7189, 7684, 13268, 13327, 16775, 16777, 16779) 大野市経ヶ岳(16671, 16672)  
熊河(18696) 大野郡和泉村中竜(17261, 17263, 17264, 17272, 17276, 17278, 17281)  
今立郡池田町冠山(6305, 8932, 12974, 15391, 16077, 16634, 16641)の各地で採集。
4. *Athyrium* × *bicolor* Serizawa ニセコシノサトメシダ  
コシノサトメシダとヤマイヌワラビの雑種と推定されるもの。  
コシノサトメシダよりは葉質がやや厚くヤマイヌワラビ的で、中部羽片の最下小羽片は多少なりとも下先につく。この雑種は葉柄は緑色でコシノサトメシダのようであるが、中軸上部

や羽軸はヤマイヌのように紫色を帯びるので区別できる。学名はこの2色の特徴に基づく。  
本州(新潟・長野・岐阜・福井)に分布。

勝山市小原峠(18680) 大野市赤兎山(16776, 16778, 16780) 大野市経ヶ岳(16670,  
16674, 16679) 今立郡池田町冠山(16626, 16635~16637, 16640)の各地で採集。

### 【イラクサ科】

#### 5. *Urtica angustifolia* Fischer

var. *angustifolia* ホソバイラクサ

茎は高さ100~150㎝、葉は長だ円状ひ針形で長さ8~15㎝、幅2~5㎝で両面に毛があり、  
葉柄は葉の1/3より短い。托葉は各節に4枚ある。

本州, 九州, 朝鮮, 満州等に分布。

坂井郡金津町刈安岳 1980. 9. 23(19284)で採集。

### 【ヤドリギ科】

#### 6. *Hyphear tanakae* Hosokawa ホザキヤドリギ

花は7月頃, 和名のごとく枝に頂生する3~5種の穂状花房にまばらに対生してつき(ヤドリギの花は2~3月頃, 枝先に通常3個ずつつく), 葉の幅も広い。

本州(長野県以北), 朝鮮, 中国北部の温帯に分布。

勝山市北谷 1978. 8. 17(18071)北川博正氏がミズナラに寄生しているのを採集。

#### 7. *Korthalsella japonica* Engl. ヒノキバヤドリギ

ツバキ科, モチノキ科, モクセイ科などの枝に寄生する常緑の半低木。

本州(千葉県以西), 四国, 九州, 台湾, 中国に分布。

敦賀市立石(動燃敷地内) 1978. 11. 18(18072)にて八田七郎右エ門氏が採集。鳥取以東の  
日本海側では初記録である。

上木氏によると, 動燃の敷地内ではソヨゴ, サカキ, ヒサカキ, シヤシンボ, リョウブに寄  
生しているとのことである。頂いた標本はリョウブに寄生しているものであった。

これで福井県内には日本に自生するヤドリギ科の植物は全部自生していることが確認された。

### 【フサザクラ科】

#### 8. *Euptelea polyandra* Sieb. et Zucc.

from *hypoleuca* Mizushima et Yokouchi ウラジロフサザクラ

フサザクラの葉の裏面が白いもの。

大野市熊河 1980. 7. 21(18743)

### 【バラ科】

#### 9. *Rosa multiflora* Thunb.

from. *inermis* Sugimoto トゲナシイバラ  
ノイバラの棘のないもの。  
遠敷郡名田庄村一ツ谷 1980. 6. 1 (18304)

【モチノキ科】

10. *Ilex crenata* Thunb.  
from. *microphylla* Rehd コバノイヌツゲ  
イヌツゲの葉が小形のもので長さ1種以下。  
大野市中水谷 (18848) 1980. 7. 23

【アオイ科】

11. *Abutilon theophrasti* Medic イチビ(キリアサ)  
インド原産の帰化植物。渡来は古い。昔は茎の皮から旅行者のすねあて、農民の着衣、縄などをつくり、皮をはいだしんは火縄などに用いられたそうである。  
福井市福井口 (18579) 1980. 8. 4 林幸子氏が採集。

【マタタビ科】

12. *Actinidia argata* Planch.  
from. *rufinervis* Sugimoto サビバサルナシ  
葉の裏面の脈に沿って赤褐色の毛の多いもの。  
遠敷郡名田庄村三国岳 1980. 8. 2 (19240)

【ユキノシタ科】

13. *Deutzia crenata* Sieb. et Zucc.  
from. *sieboldiana* Maxim ケヒロハウツギ  
ヒメウツギの1型で、葉は広く、花序に立毛があるもの。  
大野市熊河 1980. 7. 21 (18743)
14. *Hydrandgea serrata* Seringe subsp. *yezoensis* Kitamura  
from. *cuspidata* Nakai ニワアジサイ  
エゾアジサイの1型で、花序が皆中性花からなるもので、頭巾山で数株確認。  
遠敷郡名田庄村頭巾山 1980. 7. 13 (18498)

【ウコギ科】

15. *Kalopanax pictus* Nakai  
from. *maximowiczii* Hara キレバハリギリ  
ハリギリの葉の深裂したもの。

大飯郡大飯町河村 1980. 8. 17 (18917)

【ツツジ科】

16. *Vaccinium hirtum* Thunb.  
form. *lasiocarpum* Ohwi ケカクミノスノキ  
がく筒が有毛で、葉も多毛なカクミノスノキ。  
本州（東海・近畿），四国に分布。  
遠敷郡名田庄村三国岳 1980. 8. 2 (19181)

【ゴマノハグサ科】

17. *Verbascum blattaria* Linn. モズイカ  
欧州原産の帰化植物  
吉田郡志比堺 1980. 8. 4 (18580) 林幸子氏採集

【キク科】

18. *Saussurea ussuriensis* Maxim. キクアザミ  
トウヒレンの仲間で、葉は硬く数対に羽裂する。  
本州（福島県以西の太平洋側），九州，朝鮮，満州等に分布。  
大飯郡高浜町 1980. 8. 17 (19004)  
日本海側では島根につぐ二番目の産地。

【カヤツリグサ科】

19. *Carex heterolepis* Bunge ヤマアゼスゲ  
稈の上部は鋭い三稜形で上部は非常にざらつく。果囊の上部は急に狭まり，短い嘴状になる。  
勝山市取立山 1980. 6. 29 (18424)

【ラン科】

20. *Goodyera repens* R.Br. ヒメミヤマウズラ  
ミヤマウズラに比し，葉は10~25mmと短く，唇弁の内底は無毛である。また，花も4~7mmと短い。  
北海道，本州（北・中部）の深山，針葉樹林帯に生育。  
勝山市法恩寺山 1963. 9. 23 (19819)

（県立高志高等学校教諭）